

のんびり育った おいしい 丘のまち ひえい牛乳。

牛乳
それは優れた
栄養食品！

みなさんのご自宅の冷蔵庫には毎日しっかりと牛乳は入っていますか？

子どもの頃は、給食に牛乳が出ていたり、飲む機会も多かつた牛乳が、大人になるにつれほとんど飲まなくなったり、という声を聞くことがあります。

牛乳といえば、身体をつくるタンパク質や、骨を丈夫にするカルシウムがよく知られていますが、ほかにも身体にいい成分がいっぱい含まれてます。

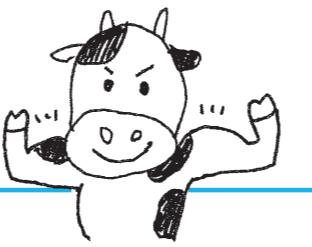
家族みんなの健康づくりに、牛乳の持つパワーを学び、美瑛のおいしい牛乳をぜひどうぞ！

完全栄養宣言！ 体を支える牛乳パワー

栄養素

牛乳1本分 (200ml=206g)

エネルギー	137kcal
たんぱく質	6.8g
脂質	7.8g
炭水化物	9.9g
カルシウム	227mg
ビタミンA	80μg
ビタミンB1	0.08mg
ビタミンB2	0.31mg



○カルシウム Calcium

牛乳に含まれるミネラルといえば何といってもカルシウム。牛乳のカルシウムの特徴は、第一に吸収率の高さにあります。カルシウムを多く含む食品としては、野菜や魚があげられますが、これらと吸収率を比べてみると、野菜の吸収率は約19%、魚は約33%ですが、牛乳の吸収率は約40%です。また、リンはカルシウムと結合し、骨や歯をつくる原料になります。このふたつのミネラルは、どちらも効率よく利用するため1対1の比率で含まれているのがよいとされています。牛乳はまさにこのベストバランスなのです。

○たんぱく質 Protein

たんぱく質をつくれるアミノ酸の中で、体内では合成できないものを必須アミノ酸といいます。全部で8種類ある必須アミノ酸をバランスよく含んでいるものが良質のたんぱく質といわれています。牛乳のたんぱく質には、この必須アミノ酸がすべて含まれていて、そのバランスも理想値に近いものです。また、牛乳のたんぱく質の特徴として、消化吸収のよさがあげられます。市販されている牛乳のほとんどは、脂肪が均質化されており、たんぱく質をはじめとした成分も均一となり消化吸収がされやすいからです。

○ビタミン vitamin

牛乳には、ビタミンC以外のほとんどのビタミンが含まれています。特にビタミンAやビタミンB群が豊富です。ビタミンは体内で合成することができないので、毎日の食事で欠かさずとらなくてはなりません。手軽に飲める牛乳は、ビタミンの補給源としてとても役立つものといえるでしょう。

ビタミンA

皮膚や粘膜を健康に保ち、風邪などの病気に対する抵抗力を強める働きがあります。

ビタミンB₂

別名「美容ビタミン」と呼ばれ、体の動きを調節して成長を助け、肌の新陳代謝を促します。牛乳1本で1日の所要量の1/3が摂取できます。

牛乳ものがたり

Milk History



愛されて8000年前……？

今からおよそ8000年前、エジプトやメソポタミアの遺跡から、古代の人たちが牛から乳を搾り、それを飲んでいたことを描いた壁画が見つかっているそうです。そのころの牛乳は、飲み物したり、薬として使われていたのではないかと言われています。

日本に牛乳が伝えられたのは、今からおよそ1500年前の飛鳥時代、インドから中国を通って仏教とともに伝えられたと言われています。そのとき伝えられた牛乳はヨーグルトのようなもので、主に薬用として使われたそうです。しかし、この薬用の牛乳は、貴族の人たちだけのものだったので、王朝文化が滅びるとともに歴史の中から消えてしまいました。牛乳が普通の人にも飲まれるようになったのは、明治時代になって北海道の開拓が始まられ、酪農が取り入れられてからのことです。



牛乳を温めると表面になぜ膜ができるの？



表面にできる薄い膜は、牛乳を40°C以上に熱するとできるものなのです。牛乳を熱すると、空気に触れている表面の部分は、どんどん水分が蒸発して、成分が濃縮されていきます。すると、たんぱく質を主体にして、乳糖や脂肪を包み込んで凝固し、皮膜ができるのです。これを「ラムスデン現象」といいます。この膜は、水分を除くと20~25%がたんぱく質、70%が脂肪ですから、もちろんそのまま食べられます。豆乳からつくる湯葉もこうして作られています。

牛乳はなぜ白いの？

牛乳はきれいな白色をしています。その白さのもとは小さな粒があります。牛乳の中には、水に溶けないタンパク質のカゼインや、乳脂肪の粒子が無数に漂っています。それらが外からの光を反射し、反射した光が散乱するために、私たちの目には白く見えるのです。

6月1日は「牛乳の日」？

国連食糧農業機関(FAO)が2001年に、牛乳に対する関心を高めると同時に、酪農・乳業の仕事を多くの方に知ってもらうことを目的として、6月1日を「世界牛乳の日(World Milk Day)」と定めました。それに伴い、日本でも酪農乳業団体が2008年、これに合わせる形で6月1日を「牛乳の日」、6月を「牛乳月間」と決定したそうです。



△一子①
一久子②
マーマダム③
ミミ

この漢字なんて読む？ 乳製品に関わる当て字です。さて、なんと読むでしょう？

① 氷菓子

ヒント

子どもから大人まで大好きな、夏場によく食べられる冷たい菓子。やわらかいものはソフトクリームと呼ばれる。

② 牛酪

ヒント

乳を原料とした食用油脂で、黄色味をおびた白色の固体。代替品として、植物油など他の材料から作られるマーガリンがある。

③ 乾酪

ヒント

乳を原料に凝固や発酵などの加工をして作られる。ピザやパスタなどに使われ、ブルー、チeddar、モッツアレラなどの種類がある。

牛乳に関する何気ない疑問にお答えした牛乳豆知識

丘のまちに暮らす
牛の一日に密着

